

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	代表 1	9	林 久嗣 (代表) 【一括質疑】	村椿 市長	1 富山地方鉄道と魚津市の関わり方について
					富山地方鉄道と魚津市の関わり方について以下の質問をします。
					① 地鉄の利用状況及び経営状況を鉄道のあり方検討会議等において沿線自治体の動向などを踏まえて今後、市がどのように対応するのか、関わり方について伺います。
					② 富山県として、今後どのような支援策や方向性を示しているのか伺います。
					③ 並行するあいの風とやま鉄道との役割分担や連携について、どのように認識しているのか伺います。
				村椿 市長	2 松倉城址国指定について
					松倉城は北陸を代表する歴史遺産であり、国指定史跡に向けた取り組みが進められています。以下について質問します。
					① 国指定に向けた進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。
					② 地権者との合意形成と用地について現在の地権者数、調整状況について伺います。
					③ 指定区域において地権者が不明のため同意が困難な場合、認可地縁団体による解決方法があります。この方法について簡潔に説明願います。
					④ 地域住民・関係団体との協働・活用方針について伺います。
					⑤ 国指定後の観光・地域振興への波及効果と課題について伺います。
				舘 選挙管理委員会事務局長	3 参議院議員選挙を通じた若者及び高齢者の投票率向上について
					近年、国政選挙・地方選挙ともに若年層の投票率は低迷が続いており、特に20代では半数近くが棄権している状況にあります。平成28年の公職選挙法改正により18歳から選挙権が認められ、主権者教育や模擬投票の実施、期日前投票所の拡充などの取り組みが全国で進められています。しかしながら、依然として若者が政治とのつながりを実感できる仕組みは十分とは言えません。また、中山間地において交通手段や情報入手の制約により投票率低下傾向が見られる。地域特性に応じた取り組みも必要と考えます。
					① 若者への情報発信のあり方、情報提供の強化についてケーブルテレビやインスタグラムなどの活用が考えられるが、見解を伺います。
					② 中山間地域、過疎地域の有権者、あるいは高齢者・交通弱者に対する投票率向上策として移動投票所の導入、投票送迎サービス支援についての見解を伺います。
					③ 参議院議員選挙は最近の気候を考慮すると酷暑が予想される。投票所の空調環境を配慮した考えはないのか。見解を伺います。
					④ 投開票について投票立会人の負担軽減やなりて不足解消のために時間の繰り上げ投票を検討してはどうか、見解を伺います。
					⑤ 県内の投票率は富山市に次いで最後から2番目です。投票率を上げる努力はされていると思いますが、なぜこのような結果が続くのか調査分析はされてますか、見解を伺います。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	代表 2	6	石崎 一成 (代表) 【一問一答】	石黒 副市長	1 改正鳥獣保護管理法における緊急銃猟について
					① 法改正によりどういったことが行えるようになり、行政としてどのようなメリットとデメリットが考えられるのかを伺う。
					② 令和元年7月31日に発生した、ありそドーム周辺でのクマの出没と駆除を経緯に、市のクマの出没対応マニュアルが作られている。今回の改正を受け、机上訓練や実地訓練を行うべきと考えるが見解を伺う。
					③ 全国的にクマ類やイノシシおよびニホンザルといった大型哺乳類の街区出没や建物侵入、ハクビシンやアナグマ、タヌキおよびアライグマといった中型哺乳動物の住み着きや営巣が増加している。本市における現状はどの程度把握されているのかを伺う。
					④ 野生動物との共存に対して、市民全般と意識醸成を図っていくことが今後求められると考えられるが見解を伺う。
				石黒 副市長	2 短時間豪雨による災害の予防と軽減について
					① 令和7年8月7日および11日の大雨により多数の被害が確認された。被害状況の傾向や特性はどのように認識されているのかを伺う。
				石黒 副市長 (赤坂 産業建設部長)	② 桃山運動公園内の雨水一時貯留施設の排水塔上端まで水が押し寄せたと確認している。施設の容量や管理状況は適正なのか見解を伺う。
				石黒 副市長	③ 一時貯留施設から流下した雨水の影響で宮津地区の角川への排水が滞留し、路上溢水が発生したと考えられるが、見解を伺う。
				石黒 副市長	3 水門の管理について
					① 現在、魚津市として把握している水門はいくつあるのかについて問う。
					② 土地改良区管理のものや本市直轄管理のものがあると把握しているが、多くは地域に管理が委ねられている現状と思われる。実効性について見解を伺う。
					③ 人口減少や農業集落の就業構成の変化、土地利用の変遷、また、防災目的の視野を含めた場合、主たる目的や流路の把握などを適宜把握し地域で情報を共有する管理に改めていく時代にきていると考えるが見解を問う。

魚津市議会 令和7年9月 定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 1	11	松倉 勇 (個別) 【一問一答】	山本 生涯学習・スポーツ課長	1 未来富山高校の甲子園出場と支援体制について
					① 支援体制については如何でしたでしょうか？
				村椿 市長	② 市長の危機管理対応について伺います。 前日、当日と魚津市にはどのような災害警報が出ていましたか？
					「甲子園出場に伴う募金ご協力をお願い」としたバスツアー代金等の補填を目的とした未来富山の甲子園出場を応援する会について伺う。 ③ 市長・副市長、教育長のバスツアーの料金はいかほどでしたか？
					④ 市長は、ご自身のことを世にいう政治家と思われていますか？
				館 選挙管理委員会事務局長 (村椿 市長)	⑤ 公職選挙法 第199条の2第1項(公職の候補者等の寄附の禁止) にあります、公職にある者の寄附の禁止条項について選挙管理委員会事務局長に伺います。
				村椿 市長	⑥ 応援バスツアーにて、お三方は利益供与を受けられたという事実についての考えを伺う。
					⑦ 甲子園応援バスツアーの募集チラシには「魚津市限定助成金により」と表示されていたが、この応援バスツアー料金の限定助成金とは？
				山本 生涯学習・スポーツ課長 (村椿 市長)	⑧ 応援する会の募金協力をお願いの募集方法等を列記した書面に本件に関する問い合わせ先として、魚津市教育委員会・生涯学習・スポーツ課担当 山本までとし、電話番号を列記 以上宜しくお願いします。と記されていたが、この団体と会の代表者との市の関係性は？
				松島 税務課長 (村椿 市長)	2 行政の補助金と固定資産税の関係性について
					① 観光庁の高付加価値補助金交付団体の認定を受け、市内事業者に合計19件、総事業費11億円の高付加価値補助金申請を受けました、それぞれの事業所において総額7億の交付を受けております。これによる本市の固定資産税の増額は？
					② これまで、国や県の補助において、増築や改築、機械設備の更新等での増収は過去2年間では何件の増収で総額は？
					③ 私が知りえた数件の情報を担当課に7月 早期に情報提供させて頂きました。中古一般住居用不動産を買い上げ、全体を店舗用に大改造を施し収益物件としている。担当課に於いて調査をされ必要な指導等されたことと思いますが、その内容と結果は？

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 2	5	島田 修 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 魚津市人口ビジョンについて
					2030年の定住人口 ① 8月19日に開催された魚津市総合計画審議会で、将来人口を2030年に3万6千人程度まで減少するという下方修正を報告されました。全員協議会で説明を受けましたが、改めてどのような計画で設定されたのでしょうか？
					こどもの出生数の減少 ② 20年前は約400人だったのが、10年前は約260人と140人減っており、昨年は174人と年々減っています。このままだと、どのような影響があるか？お答えください。
				戸田 地域協働課長	うおづマリッジサポートイベントの結果は ③ 昨年12月8日に男女交流イベント「クリスマスパーティー」、今年7月5日に魚津市・滑川市・黒部市合同婚活イベント「ナイトアクアリウム パーティー」を開催されました。他に5月～6月にかけて魚津市×黒部結婚相談所の企画がありましたが、状況と費用対効果はどうですか？
					民間の企画する婚活への支援に関して ④ 民間でも婚活のイベントをされており、魚津市後援となっています。機会が増えることは良いことだと思いますので、もっと支援が出来ないもののでしょうか？
				村崎 教育総務課長	2 学校体育館空調整備事業について
					① 学校体育館空調整備調査 中学校2校の体育館の効果的な空調整備方法の調査をR7年度予算に計上されましたが、現在どのような状況でしょうか？
				山本 生涯学習・スポーツ課長	3 弓道場について
					① 弓道場について 現在、総合体育館敷地内にあります弓道場の防犯対策についてどう考えていますか？
					弓道場の存続について ② 歴史ある魚津市弓道連盟が練習場として使用しています弓道場は今後も継続してスポーツ協会が指定管理されるのでしょうか？お答えください。
				木村 企画部次長	4 魚津水族博物館について
					魚津水族博物館における企業版ふるさと納税 ① 8月19日に魚津水族博物館の外壁の修繕に企業版ふるさと納税の募集を行うと発表されましたが、どのような形態で、どのようにして市外の企業に寄付を依頼していくのですか？
				清水 水族博物館長	② 外壁工事の内容は 外壁の修繕工事はいつから始まりいつまでの予定で、どのような内容ですか？

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 3	4	野村 明男 (個別) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 第3期魚津市教育振興基本計画策定委員会について
					10年後の魚津の教育を考える「第3期魚津市教育振興基本計画の策定委員会」が公開で開催された。
					① 特に重点的に議論されるテーマは何か。またどのような教育ビジョンを描いていきたいのか。
					② 清流小学校建替え要望書が出されているが、地域の切実な声は、どのように審議され、建替えに向けた具体的な進展を期待してよいのか。
					③ 小中一貫校や義務教育学校は念頭に置いているのか。
				村崎 教育総務課長	2 学校規模適正化推進計画の見直しについて
					平成26年策定の学校規模適正化推進計画の現状との差異について
					① 経田小学校は、R5年度に道下小学校に統合予定だったが教室不足で未済である。今後の見通しは。
					② 経田小学校は小規模特認校制度を活用して、存続させられないか。
					③ 星の杜小学校はR13には全学年「1学級」が予想される。当初の見通しが甘かったのではないか。児童数増への対策はあるのか。
					④ 統合の目的であった「1学年2学級以上」の教育効果が薄れていくことへの対応は。
				入井 教育委員会参事	3 教員の働き方改革について
					教員の働き方改革は、部活動地域移行や給食費公会計等により、一定の成果が出ていると認識している。
					① 今後の働き方改革をどのように進めていくのか。
					② 休憩時間は国の令和4年調査で小学校が23分である。市内の現状はどうか。
					③ 特に担任は休憩がとりにくい状況である。教員が安心して休憩できる環境整備や業務量を精査・削減する具体的な取組みをどのように進めていくのか。
					4 給食のアレルギー対応について
					各校では除去食や代替食等で2重3重の安全対策をしている。しかし、ナッツの摂取でアレルギー症状をおこし、保護者が病院搬送した事案があった。
					① 再発防止策を問う。
					② 救急車は、誰がどのような基準で要請するのか。
					③ アナフィラキシーの可能性がある場合、状況を説明できる教員が随行すべきではないか。
				山瀬 教育長	5 台湾との交流について
					7月に台湾新北市と教育面でのMOU(基本合意書)の締結がなされた。
					① 意義や今後の期待は何か。
					② 6月に高雄市忠義小から児童15名が道下小学校を訪問し交流したが、今後、高雄市の小学校へ訪問する具体的な考えはあるか。
					③ 魚津市への年間の経済波及効果は、どれくらいか。
				村椿 市長	④ 市民の台湾への関心は高まっているのか。アウトバウンドをどう進めるのか。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 4	3	大城 章仁 (個別) 【一問一答】	田中 教育委員会事務局長	1 未来高校富山について
					① 市民のより大きな理解を得るため、未来高校富山と通常の高校はどこが同じで、どこが異なるのかを問う。
					② 同校野球部員は本市に住民票を移し、人口増に貢献してくれているのかについて問う。
				江田 企画部長 山瀬 教育長	2 人口減少・少子化について
					① 県内他市に比べ、本市の人口減少率が高い理由について問う。
					② 教育環境を転入増の呼び水にすべきだと考えるが、本市の教育の特長について問う。
				村椿 市長	3 総合体育館の解体と跡地利用について
					① 市総合体育館と旧温水プールの解体スケジュールについて問う。
					② 市総合体育館およびグラウンドの跡地利用について問う。
				山本 生涯学習・スポーツ課長	4 室内温水プールについて
					① 8月に開館した室内温水プールの利用状況について問う。
					② 利用者の声を積極的に募り、改善・改修すべき点を早期に実施することについての見解を問う。
				高森 商工観光課長	5 湾岸エリアの観光振興について
					① いわゆる「蟹気楼ロード」のこれまでのPR方法について問う。
					② 蟹気楼ロード沿線における飲食店等の誘致の可能性について問う。
				高森 商工観光課長	6 魚津観光まちづくり株式会社について
					① 設立された「魚津観光まちづくり株式会社」に期待されている具体的な役割および当面の活動予定について問う。
					② 電動トクトクレンタルサービスについて問う。
					③ 他地域における「観光まちづくり株式会社」の成功例およびその背景・理由を問う。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 10 日	個別 5	17	寺崎 孝洋 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 総合計画・基本計画の見直しについて
					① 定住人口目標の下方修正の背景と根拠について、市長の見解をお聞かせください。特に急速な人口減少の進行に関するデータとその詳細な説明もお聞きます。
					② 出生率向上を前提としない新しい人口ビジョンの背景と根拠、少子化対策の具体的な方向性、及び人口減少の要因に対する市長の見解をお聞きます。
					③ 将来人口を見通した、移住・定住の推進や若者の地元定着などの人口減少抑制策について、市長の考えをお聞きます。
					④ スマートシティ構築の実績と、新しい施策「DX推進」が市民生活の向上、地域課題の解決、新たな産業創出にどのように貢献するかについて、市長の見解をお聞きます。
				石黒 副市長	2 人事行政、定員管理について
					① 「第7次魚津市定員管理計画」では、職員数を増加させる目標が掲げられています。主な理由は「職員の育児支援」のための増員です。この転換が市民サービスの質と提供体制の維持・向上にどのように貢献するか、また、魚津市の職員数が類似団体と比較して少ないという事に基づき、新たな職員数目標が現状の市民サービス水準と将来の行政需要に照らして十分であるかについて、見解をお聞きます。
					② 「第7次定員管理計画」の基本方針には、計画的な職員採用と高齢期職員の活用が挙げられていますが、これらが職員の平均年齢適正化や世代間継承にどう結びつくかについて、お聞かせください。
				石黒 副市長 (村椿 市長)	3 富山地方鉄道につ いて
					① 富山地方鉄道は6月の取締役会で「鉄道線の一部区間について、行政から必要な支援を得られなければ来年11月いっぱいまで廃止する方針を決め、国への申請に向けた準備を始めたことを沿線自治体に伝えた」との報道がありました。沿線自治体での協議内容と今後のスケジュールを教えてください。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 6	14	中瀬 淑美 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 公共施設等における給水スポット設置と水循環の魅力発信について
					① 熱中症対策や環境負荷低減の観点から給水スポットを設置する考えについて。
					② 魚津の豊かな地下水や水循環の恵みを活かし、給水スポットを「魚津の水ブランド」の発信の場として活用する方針について。
					③ 将来的に観光拠点や公共施設等への常設化、またマイボトル利用促進と組み合わせた環境施策への展開をどのように考えるか。
				山本 民生部次長	2 高齢者向け補聴器購入助成制度の導入について
					① 本市における補聴器購入助成制度の現状と認識について
					② 高齢者健診等における難聴リスクの早期発見の検査導入について
					③ 周辺自治体の高齢者向け助成制度の状況把握と、本市に制度がないことによる課題認識について
					④ 制度創設に向けた今後の検討について
				池川 健康センター所長	3 母子保健DXの推進とマイナンバーカード普及施策について
					① 母子保健DXの導入による期待される効果について
					② 導入スケジュールと課題について
					③ 里帰り出産時の事務手続き改善について
				石浦 市民課長	④ 本市のマイナンバーカード保有枚数率と普及施策について
					⑤ 「特急発行・交付制度」の周知について
				窪田 民生部長	4 人生会議(ACPアドバンス・ケア・プランニング)の普及・啓発について
					① 市民への周知と今後の取り組みについて
					② 医療機関、介護施設との連携について
					③ 市民ニーズの把握と、その後の対応について
					④ 普及により期待される効果と将来の展望について
					⑤ 死後の希望や遺言に関する意思表示も含める考えについて

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

2020/9/10, 9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9月11日	個別7	13	浜田 泰友 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 自治体連携について
					令和2年度に新川2市2町でまとめた広域連携調査報告書では、体育施設や文化施設、学校給食センターなど公共施設の広域利用の可能性、さらにはデジタル分野における人材確保や共同利用といった課題と可能性が整理されている。
					① 人口減少が進む中で、公共施設や情報分野における広域連携の取り組みを改めて検討してはどうか。
					② 広域連携を進めるにあたり、一部事務組合を組織している新川広域圏の活用についてどのように考えているか。
					③ 魚津市が有する友好親善都市や協定都市との関係をより深化させ、地域間連携や交流を推進すべきではないか。
			山瀬 教育長	2 文献調査について	
				国史跡指定を目指している松倉城の築城時期は明確ではないものの、南北朝期に築かれたとされている。 文献上の初出は建武5年(1338)『太平記』における記載であるが、『太平記秘伝理尽鈔』には建武2年(1335)の魚津城が記され、『越登賀三州志／故墟考』には「建武2年の魚津城は松倉城なりと云ふ説あり」とされている。 一方、松倉に居たと伝わる刀匠・郷義弘については、『工藝鏡』に「正中2年(1325)没、年二十七」とあり、『古今鍛冶備考』には後醍醐天皇期に「越中国松倉城主桃井家の侍臣」との記述がある。『太平記秘伝理尽鈔』では桃井直常は建武2年(1335)に北陸へ派兵されているが、越中守護の在職は1344～1351年で、後醍醐天皇の没後(1339)のことである。 また、松倉金山については『魚津市史』に「応永年間(1394頃)の発見」との記載がある。	
				① 松倉城の築城時期や関連史料について、さらなる文献調査の必要性をどのように考えているか。	
				② 松倉城・郷義弘・松倉金山はいずれも14世紀頃に関連がみられる。これらに関連付けた史料調査を進める考えはあるか。	
				田中 教育委員会事務局長	③ 魚津市が所蔵する武隈家文書には松倉城に関する記載が見られる。市所有郷土資料の研究は進んでいるのか。
			④ 市所有郷土資料をデジタル化して保存、公開する必要性を感じるが、現在の進捗と今後の予定を問う。		
			山本 生涯学習・スポーツ課長 (宮崎 公共施設再編推進室長)	3 室内温水プールについて	
				本市の新しいプール、とびUO！プールは、ZEB Ready認証相当の環境性能を備えた施設であり、ランニングコストの低減が見込まれている。	
				① どのような設備・技術を導入し、どの程度の省エネ・創エネ効果が見込まれるのか。	
			米島 生活環境課長	4 交通安全対策について	② ランニングコストの低減について、指定管理者の募集にどのように反映しているのか。
					抜け道として利用される生活道路について、国土交通省と警察庁が導入を進める「ゾーン30プラス」に代表される交通安全対策の関心が高まっている。 「ゾーン30プラス」の取り組みでは、最高速度30km/hの区域規制や、ハンプ、狭さく、スムーズ横断歩道などの物理的デバイスを組み合わせることで、生活道路における事故防止を図る手法を強化している。これにより、通過交通の抑制や速度低下、安全意識の向上が期待されている。
					① 本市では、「ゾーン30プラス」を含む生活道路の交通安全対策として、最高速度規制区域の指定や、ハンプ・狭さくなど物理的な対策の導入について、現在どのような取り組みを行っているのか。
② 今後、このような生活道路安全対策を推進する意向はあるか。					

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 8	1	宮坂 昌利 (個別) 【一問一答】	前田 こども課長	1 ファミリーサポートセンター事業の協力会員の謝礼引き上げについて
					① 会員数(依頼会員・協力会員・両方会員)の推移を伺います。
					② 利用されているお子さんの年齢構成・利用件数・利用時間・支援内容の現状を伺います。
					③ 協力会員の年齢構成と謝礼金の令和6年度実績を伺います。
					④ 謝礼金は、平日が1時間700円で、2時間から4時間は同じ額の2,500円支給されていることと聞いていますが、この現状がふさわしいか疑問を感じます。いつからこの単価で運用されているのか、その根拠と市としての妥当性の認識を伺います。
					⑤ この事業を持続していくための今後の課題を伺います。
				村椿 市長	2 1日保育士体験について
					① 実際に園児や保育士さんと過ごされる中で、どのようなことを感じられましたか？
					② 体験を通じて、保育士の皆さんが日々抱えている課題、例えば人員配置の不足、事務作業の多さについてどのように感じられましたか？
					③ 体験された中で子どもたちの発達や個性を大切にすることの重要性についてどう感じられましたか？
					④ ファミリーサポートセンター事業の謝礼金引き上げや、保育士の負担軽減、処遇改善策なども含めて、魚津市の子育て支援をさらに発展させるために、市長としてどのようなビジョンを持ち、どのようにリーダーシップを発揮されるか考えを伺います。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

2023/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
9月11日	個別9	2	寺口 俊光 (個別) 【一問一答】	小林 都市計画課長 (石黒 副市長)	1	過去に質問した地鉄問題及び農産品直売所について
						(1)地鉄問題について(令和6年9月定例会にて質問)
					①	昨年質問した際、公共交通は「あいの風」と「地鉄」の一体的な構築が必要と提案しました。「地鉄」の議論が先行して「あいの風」との議論が見えてこない。この問題に対する「あいの風」はどのような考えを示しているのか？ また市町村で方向性を決定し、富山県へ支援を要請するのではなく、富山県が主体的に解決方法を導くべきと考えるが、当局の考えは？
					②	廃駅は市民に多大な影響がある。「経田駅」「電鉄魚津駅」「西魚津駅」がなくなるような事態となれば、その代わりとなる公共交通機関が必要だがその案はあるのか？
						(2)農産品直売所について (令和7年3月定例会にて質問)
					①	魚津市の地産地消を進める為に、農産品直売所の必要性を提案させて頂いた。現状の取組状況を伺う。
					②	生産者団体の一つである魚津市農協が当局に対し「直売所に関わる要望書」を提出されたようですが、どのような要望だったのか？ またどう答弁されたのか？
				舘 農林水産課長		
			西川 産業建設部次長	2	橋梁の管理について	
					(1)橋梁長寿命化修繕計画について	
				①	橋梁長寿命化修繕計画によると魚津市が管理する橋は247橋。そのうち早期措置段階な橋は9橋。緊急措置段階な橋は1橋。それぞれの橋名と現状の利用状況を問う。	
				②	将来のメンテナンスを考えると橋梁の統廃合が必要なのではないか？検討していないのか？今後の橋梁の維持管理方針を問う。	
					(2)富山県から移管された道路や橋梁について	
				①	月形橋は現在通行止めで、月形橋が県道から市道に変わった経緯を伺う。	
				②	月形橋の維持管理費はいくらか？解体費用はいくらかかると予想されるか？また対岸の滑川市の対応は如何に？	
				③	今後、富山県から移管されるインフラの受け入れ条件を作る必要があると考えるがそのような条件は既にあるのか？	
				米島 生活環境課長	3	環境に関する課題について
						(1)海岸の清掃について
					①	海岸清掃に取り組む団体に対する行政の支援内容を問う。
②	川のゴミが喫緊の課題である。海岸ゴミの80%は川由来と聞く。川の清掃にもっと力を入れるべき。不法投棄対策として監視カメラの設置について伺う。					
	(2)リチウムイオン電池の課題について					
①	リチウムイオン電池を、一般ゴミに混入し、焼却場やバッカー車などが火災になるケースがある。市内や新川広域圏で火災の事例はあるのか？あるのであれば被害額はどれだけか？なければ他県の情報があるか？					
②	経産省は、リチウムイオン電池を内蔵したモバイルバッテリー・携帯電話・加熱式たばこ機器の3品目を「指定再資源化製品」に追加することを決めた。来年4月からメーカーや輸入業者に使用済み製品の回収やリサイクルが義務づけられる見通しです。現在は小型家電として、魚津清掃公社の常設小型家電ゴミのコーナーに持ち込みできる。また、大きな物は「金物・粗大ゴミ」で対応しているが、ルール改正の影響はあるのか？					
	(3)プラスチックごみの回収対応について					
①	魚津清掃公社の「ボトルtoボトル」水平リサイクルは先駆的な取り組みです。どのような課題があるのか？また市民はペットボトルをゴミに出すときどのような協力をすべきでしょうか？					
②	容器包装リサイクル法で対象となるゴミとプラスチック資源循環促進法で対象となるゴミの違いは？またプラスチック資源循環促進法の施行により魚津市はどのように対応するのか？					
松木 財政課長	4	財政について				
	①	暫定税率廃止に伴う魚津市財政に与える影響は？				
	②	国債金利上昇に伴う魚津市財政に与える影響は？				

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 10	10	岡田 龍朗 (個別) 【一問一答】	石黒 副市長	1 地域経済について
					物価高騰等の影響により、市民生活が大変である。働く人たち等の賃上げが進んでいない現状があると考える。
					① 働く人の賃金引き上げの現状等をどう捉えているか。
					② 中小企業への賃上げ支援が必要である。国・県の支援制度があると思うが、本市の支援実績等はどうか。
				舘 防災危機管理室長	2 防災対策について
					① 政府が指針で示す避難所基準はどのようなことなのか。
					② 共同通信社が全国の市町村に実施した避難所の準備状況に関するアンケートによる魚津市の現状と課題はどうか。
					③ 能登半島地震の検証では、自助・共助の意識が重要であるとしている。どのような取組み等が必要なのか。
					④ 救命に係るAED設置実態はどうか。その設置個所を拡充していくのか。
				矢野 上下水道局次長	3 公共事業の安全対策について
					埼玉県行田市で下水道マンホールで4名が転落死する事故が発生した。
					① 公共事業の安全対策は、業者だけに責任を負わせるべきではないと言える。魚津市での安全計画や現場の実施確認等の対応はどうか。
				山本 民生部次長	4 特別障害者手当について
					① 特別障害者手当の受給者数が少数であると思うが、どのように捉えているのか。
					② 特別障害者手当は、20歳以上で常時介護が必要とする人が対象であるとしている。制度の周知はどのようにしているのか。
				舘 農林水産課長	5 農業について
					① 水田活用直接支払交付金は有効な制度となっているか。
					② 米の増産への方向性等が示されているが、どうか。
					③ 米の増産には、作付け面積拡大等が必要であるが、市はどのように捉えているのか。

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 11	7	八倉 巻 正臣 (個別) 【一問一答】	窪田 民生部長	1 2050年カーボンニュートラル問題について
					カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を「実質ゼロ」に抑える概念の事を言います。対象となる温室効果ガスには、二酸化炭素(CO ₂)、メタン、一酸化二窒素(N ₂ O)、フロン類なども含まれます。本市でも、2020年2月に県内でもいち早く「ゼロカーボン宣言」を表明し、2050年までにゼロカーボンを達成するための取組方針や重点施策等について取り組んできたかと思います。
					① 2050年までの年度間での目標数値の見通しをお示し下さい。
					これらのことは市役所をはじめ、魚津市全体で取り組んでいかなければならないと考えます。
					② 2050年まで、ゼロカーボンを達成するための対応策と現在までの実績は(魚津市役所・区域施策)
					ゼロカーボンを考える上でカーボンクレジットは有効な手段と考えます。
					③「魚津市におけるカーボンクレジット等導入可能性調査事業」についてはどのような結果報告になりましたか。
				館 総務部次長	2 魚津市消防団員減少について
					消防団は、地域に密着し住民の安全・安心を守る重要な役割を担っています。消防団の特性である要員動員力を維持する事はとても重要です。しかしながら、全国的にみても消防団員数は減少傾向で、本市でも令和7年4月現在、合計定員数506名に対して422名、充足率83.4%となっています。主な減少の要員として人口減少と高齢化、若年層の価値観の変化と地域との関係性の希薄化などがあげられます。これらを考えるとますます減少が続くと考えられます。
					① 消防団員数減少の現状を本市ではどのようにお考えですか
					② 本市でも様々な取り組み・啓発が行われているが成果が出ていない。今後に向けてどのように取り組まれていくのか市の見解は
					今後、消防団員数が減り続けることになれば各分団の活動に支障が出るほか有事に備えられない事が考えられます。
					③ 枠組みを取り払い横筋の連携・縦筋の連携を強化し、また、団員数確保が困難な分団があれば将来的には合併も視野に入れておかなければならないと思うが市の見解は
				赤坂 産業建設部長	3 立地適正化計画における魚津駅・新魚津駅・電鉄魚津駅周辺のまちづくりについて
					現在、本市では地鉄問題が解決していません。結果次第で駅周辺のまちづくりにも影響が出ると思います。
					① 駅周辺のまちづくり(特に電鉄魚津駅周辺)をどのように進めていくか市の見解は

魚津市議会 令和7年9月定例会

2025/9/10、9/11

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
9 月 11 日	個別 12	16	越川 隆文 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 富山地方鉄道廃線問題について
					これまでの協議の進捗と富山県の役割について、令和3年度に設置された3市1町、富山県、富山地方鉄道による協議がこれまでほとんど進展がみられなかったことについて、その原因と今後の協議の進め方、特に富山県の果たすべき役割について当局はどのように考えてきたか。
					② 公共交通として、重要なステークホルダーである乗客と市民はどのように考えているかについて情報収集の状況はどのようになっているのか、情報収集はなされているか。
					③ 廃線となった場合、魚津市内は魚津駅だけになる。電鉄魚津駅や西魚津駅などをあいの風とやま鉄道駅として再建する提案についてどのようにとらえているか。
				赤坂 産業建設部長	2 道の駅など農産物直売所の設置について
					① 2011年12月議会で道の駅設置を提案した。設置に対する現在の認識を伺う。
					② 隣接する黒部市の道の駅KOKOくろべが成功している。どのように分析するか。
					③ 魚津市の地形的特性（海と山が近い）を踏まえた農業振興策として、中小規模農家や家庭菜園の支援、果樹栽培の後継者育成などと道の駅等直売所設置の関連性についての見解を伺う。
					④ 農協から要望のあった「給食食材加工施設から遠くない場所、主要幹線道路沿いの直売所設置」について、市としての対応方針を伺う。
					⑤ 魚津市の観光産業強化とインバウンド誘客の視点から、農業の6次産業化と道の駅設置の関連性についての見解を伺う。
					⑥ 国交省の「道の駅は10km離して設置する」との通達について、魚津市としての解釈と対応を伺う。
					⑦ これまでの議論を踏まえ、魚津市として道の駅等農産物直売所設置の検討を行う意向があるか伺う。
				宮崎 総務部長	3 コロナワクチン接種後の健康被害と情報開示について
					過去に市民グループが魚津市に対して情報開示請求を行った際、個人情報保護法を理由に情報開示が拒否された経緯が①あると伺っております。市民の知る権利と個人情報保護のバランスをどのように考慮されているのか、具体的な見解をお聞かせください。
				窪田 民生部長	個人情報保護法は、個人の権利利益を保護するために非常に重要な法律です。しかしながら、一方で、ワクチンの臨床的な情報を②今後の新薬製造のためのデータ蓄積に供するという公共の利益もまた、人類の進歩のために不可欠であると考えます。この二つの利益は、一見すると相反するように見えますが、魚津市として、この個人情報保護と公共の利益という二つの重要な要素をどのように両立させ、市民の皆様の健康と将来の医療発展に貢献していくお考えでしょうか。具体的な施策や方針についてお聞かせください。
					③ 新型コロナウイルスワクチンに関する情報公開やデータ活用について、厚生労働省はどのようなスタンスを取っているのでしょうか。また、地方自治体である魚津市に対して、厚生労働省から情報公開やデータ活用に関する具体的な通達や指針が出されているのか、その内容についてもお伺い致します。
					④ 以上の点を踏まえ、魚津市として、今後、新型コロナワクチン接種後の健康被害情報の適切な把握と公開に向けた取り組みをどのように進めていくのか、また、公共の利益に資するデータ活用の推進をどのように図っていくのか、具体的な計画をお聞かせください。